

## 館山日東バス市内線（なむや・小浜～船形～イオン～館山駅～航空隊）の廃止申出に係る対応について

### 廃止の経緯等について

- ・館山日東バスから、千葉県バス対策協議会\*に対し、令和2年3月31日をもって路線を廃止したい旨の申出がなされる。
- ・以前から国・県補助を受けているものの、赤字の全額が補助されるわけではないため、年間600万円超の赤字を会社が負担しており、会社全体の収益が赤字に転落している中、業績の圧迫要因になっているというのが大きな理由である。
- ・「廃止申出」という形で申請がなされたものの、2市が上記の赤字幅を負担すれば運行存続が可能。

\*千葉県バス対策協議会：バス路線を中心とした生活交通の維持・確保を図るため、地域の実情に応じた具体的な方策を協議する機関（事務局は千葉県）

### 上記を受けての館山市の方針案

#### 「館山市・南房総市で追加補助を行い、運行を存続させる」

##### 【上記の理由】

- ・市内線は船形・那古・北条・館山地区という市内でも人口が集中している地区を貫いて走る基幹路線であるため。
- ・イオンタウン館山に乗り入れており、買物のアクセス路線として重要な役割を果たしているため。
- ・南房総市富浦地区から館山市街地のイオンや病院へのアクセス路線として重要な役割を果たしているため。

但し、現状のままでは更なる収益の悪化が見込まれるため、増収・増客に向けて行政・事業者がニーズ調査や路線の見直し等を行い、収益の改善に取り組む。

各論については、今後三者（本市、南房総市、館山日東バス）で詰める。

### 今後の進め方

- ・7月中旬～下旬：関係者間での協議
- ・7月31日：公共交通会議で状況報告
- ・8月お盆明け予定：県バス対策協議会（2市の方針を踏まえた協議）
- ・10月頃：最終結論
- ・その後：各論の詰め等を実施し、必要に応じ計画への方向性の記載や路線の見直しを進める

## 数値情報

### 【直近年度（平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月）の実績】

- ・ 運行回数：平日 13.5 往復、土日 10 往復（全日平均 12.3 往復）
- ・ 年間輸送人員：約 11 万人
- ・ 1 日当たり輸送人員：約 300 人（1 便当たり約 12 人利用）
- ・ 平均乗車密度：3.2 人
- ・ 輸送量：39.3 人
- ・ 経常収益（国・県補助金含む）：26,548 千円  
国・県補助：合計 6,014 千円
- ・ 経常費用：33,283 千円
- ・ **赤字額：6,735 千円**  
**（収支率 79.8%）**

## その他

- ・ 行政と事業者が共に、継続して増収・増客対策を検討していく必要がある。

### 【例】

- ・ JR バスと競合している館山駅～宮城間の整理。
- ・ 医療センターに振り向けることによる、医療センター需要の取り込み。
- ・ 館山バイパス（商業施設や市役所等）回りのバス運行。
- ・ 乗降調査の実施等による細かなニーズの把握。